



母の祈り～戦争のない世界を！～

バーサンジャブ エルベグザヤ
BAASANJAV ELBEGZAYA

人類はみな一つの空の下、地球の上で暮らしています。民族や宗教、肌の色や言葉が違って、同じ一つの太陽の下に生きています。同じ地球の上で、同じ時間を共有しています。それが人間です。私はみなさんと同じく、世界平和を心から祈っています。毎日太陽が東の空から昇り、鳥たちが楽しくさえずり、子供たちの笑い声が聞こえることを願います。本当に本当に残念です。私たちの願いはむなしく、この瞬間もウクライナで、パレスチナで戦争が続いています。罪のない子供たちがどうして犠牲になればいけないのですか？

私は軽度の認知障害が出始めている97歳のTさんのお世話をしています。認知障害は少しずつ深くなっていきます。今では家族のことが言えない日もあります。自分の出生地も分からない。しかし、完全に記憶を失ってはいない。若い時の嬉しかった思い出は口に出せます。いつもお世話している私には分かります。楽しかった思い出を思い出す時のTさんの目はキラキラ輝くからです。心の奥深くに残る嬉しい記憶はよみがえります。その逆が大問題です。それは太平洋戦争の記憶です。どんなにか辛く、苦しかったのでしょうか。心の奥底まで傷つけた戦争は、前認知症段階になっても、嫌でも思い出すのです。人間にとって、戦争ほどの悪はありません。

Tさんは今でも英語で1から10まで数えられます。生きていくために覚えたからです。認知

機能が低下してきても数は忘れません。悲しいことに、記憶を全て消し去る認知症でも、戦争の記憶は消えません。心と脳の奥深くにびっしりと染みついて離れないのです。いかに戦争とは悪で恐ろしいものか。

ウクライナ戦争の悲惨な映像を毎日目にします。血だらけの少女がやっと息をしながらお人形を握っている。ビルのかげで倒れています。両親を爆撃で失って、家の外にはい出てきたのです。こんな悲劇が地球上にあっていいのでしょうか？

1945年にソ連邦がモンゴルに攻めて来ました。この時、従軍看護師だった88歳で亡くなったおばあさんは、亡くなる最後まで軍用看護バッグを離さなかったそうです。戦争が終わって70年以上、戦争の恐怖は永遠に消えません。戦争とは悪そのものです。

Tさん、ウクライナの少女、老従軍元看護師。3人の女性にとって戦争の記憶は永遠に真っ黒な影として追いかけてきます。どんなに長い時間が経っても、心の奥深くを傷つけた戦争の記憶は残り続けます。私は4人の子の母として、今起こっている戦争がすぐに終わり、地球上で二度と戦争が起こらないよう毎朝、毎日、毎晩祈り続けています。

毎日太陽が東の空から昇り、鳥たちが楽しくさえずり、子供たちの笑い声が、世界のすみからすみまで聞こえるように。平和で戦争のない世界を！

受賞の喜び



国 籍 モンゴル
職 種 介護
実 習 実 施 者 社会福祉法人ハynesライフ
監 理 団 体 GTS協同組合

バーサンジャブ エルベグザヤ

最優秀賞を受賞したと聞いて、とても驚き信じられない気持ちでした。サポートしていただいた方々とモンゴルの家族への大きな贈り物です。JITCO、GTS協同組合、オユンナ基金、ハynesライフのすべての皆様に感謝いたします。皆さまのサポートがあって初めて受賞できたのです。

初めての日本、たどたどしい日本語。不安いっぱい成田空港に降り立ったのは、もう2年以上前です。そこにはハynesライフの方が、大きな荷物を持って出迎えて下さいました。コロナ感染防止のマスクなど、入国後研修をスムーズにする品々がぎっしり。

施設での介護技能の研修、日本語指導は本当に親切で充実したものでした。こんな環境の中で、私たちはどんどんと力をつけることができました。これからもしっかりと学びながら施設のお年寄りのために一生懸命働いていきます。

最後にこの世界から戦争がなくなり、子供たちの明るい声がどこでも聞こえるようになることを祈ります。

指導員のことば

エルカ（愛称）さん。この度は技能実習生日本語作文コンクール「最優秀賞」の受賞、本当におめでとうございます。職員一同の大きな喜びとなりました。

エルカさんは利用者さんや職場の仲間たちに、いつもニコニコ笑顔で自分から話しかけてくれます。そのためエルカさんがいると施設内は、とても賑やかで明るい雰囲気になります。

たいへんな努力家です。日本語の勉強にはとても熱心に取り組んでいます。介護の技能は指導したことは、すぐに利用者さんのお世話に生かしてくれます。みんなとても頼りにしています。

これからも、たくさんのことを学び、活躍してくれることを期待します。

社会福祉法人ハynesライフ

朝日おんせんリハビリテーションセンター 技能実習指導員

小出 智博